

令和6年6月1日

会員各々

公益社団法人日本教育会会长
日本教育会全国教育大会会長

鷲山恭彦

日本教育会静岡県支部長
静岡大会実行委員長

栗田保孝

④ 公益社団法人 日本教育会
令和6年度 第49回全国教育大会
静岡大会の御案内

万緑の候、皆様には益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、公益社団法人日本教育会第49回全国教育大会静岡大会を以下の開催要項により開催いたします。

日本では、少子高齢化や人口の減少、社会のつながりの希薄化、国際的な地位の低下、グローバル化への対応などが社会の課題として挙げられています。また、生成AI等の最先端の技術の発展は、社会のあり様を根本から変えていく可能性を秘めています。一方、国際社会に目を移すと、分断が進むとともに、国際武力紛争の継続をはじめ、対応を間違えるとさらなる紛争に発展しそうな事案が各地で影を落としており、日本も決して例外ではありません。

こうした時代にあっては、自立した人間として平和への希求を根底に置いたうえで主体的に判断し、多様な人々を尊重しながら協働し、新たな価値を創造していく人材を育成していくことが必要です。これらの資質・能力を子供たちが育んでいくためには、確かな子供理解を深めながら、体験的な活動を重視し、子供自らがコミュニケーションを取りつつ学び続ける教育実践が求められます。

本大会はこのような考え方を基本にして、子供たちが生涯学び続ける力を育成するため、大会主題を「多様性を尊重する態度を育てる教育」といたしました。

なお、今回の大会も感染症防止の観点からオンライン方式を取り入れた大会になります。

会員の皆様には、本大会の趣旨を御理解いただき、わが国の子供たちのよりよい成長を確かなものにすべく、御参加を賜りますよう御案内申し上げます。

開催要項

大会主題 「多様性を尊重する態度を育てる教育」

1 日 時 令和6年10月12日（土曜日） 12時40分～16時40分

2 会 場 静岡市東部勤労者福祉センター 清水テルサ（JR東海道線「清水駅」南口から徒歩5分）
〒424-0823 静岡県静岡市清水区島崎町223（電話番号：054-355-3111）

3 参加方法 会場参加 及び オンライン参加

4 主 催 公益社団法人日本教育会

5 主 管 日本教育会 静岡県支部

6 後 援 文部科学省・静岡県・静岡市・静岡県教育委員会・静岡市教育委員会
(予定) 静岡県都市教育長協議会・静岡県町教育長会・静岡県校長会
静岡県公立小中学校教頭会・静岡県P.T.A連絡協議会・静岡県退職校長親和会

7 日 程

12:00	12:40	13:00	14:40	14:50	16:30	16:40
受付	開会式	大会趣旨説明 提言	休憩	記念講演	閉会式	片付け

(1) 開会式

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 開式のことば | 大会実行副委員長 |
| ② 国歌齊唱 | 大会会長（公益社団法人日本教育会会长） |
| ③ 挨拶 | 文部科学省・大会実行副委員長 |
| ④ 祝辞・祝電披露 | 大会実行副委員長 |
| ⑤ 閉式のことば | |

(2) 大会趣旨説明及び提言

- | | |
|---------|--------------------|
| ◇ 趣旨説明 | 公益社団法人日本教育会研究推進委員長 |
| ◇ 提言 | |
| 幼稚園 | 園長 大森 彩 氏 |
| 幼稚園 | 副園長 松本 実予 氏 |
| 小学校 | 校長 宮澤 礼子 氏 |
| 中学校 | 校長 菊池 勉 氏 |
| 高等学校 | 校長 小野 悟 氏 |
| 特別支援学校 | 校長 太田 千佳子 氏 |
| 家庭・地域社会 | 生涯学習室 小澤 敦彦 氏 |

· · · · · <休憩> · · · · ·

(3) 記念講演

演題 「脳科学的に考える『学び』」
講師 東京大学薬学部 教授
池谷 裕二 氏

(4) 閉会式

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 開式のことば | 大会実行副委員長 |
| ② 挨拶・謝辞 | 大会実行委員長 |
| ③ 次期開催地代表挨拶 | 日本教育会大阪府支部長 |
| ④ 閉式のことば | 大会実行副委員長 |

8 参加について

- (1) 会場参加(200名) 大会運営関係者、静岡市内在勤・在住の参加希望者
 (2) オンライン参加(500名) (1)以外の参加希望者
 ※ 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

「多様性を尊重する態度を育てる教育」

現代は変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代であり、先行き不透明で将来の予測が困難な未来となっている。また、グローバル化や情報技術が社会のあらゆる領域に浸透することによってもたらされる変革、人工知能（AI）や脱炭素化への取組、国際情勢の不安定化など、社会の在り方そのものが劇的に変化する状況が生じつつある。

こうした時代にあっては、誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す学びや他者への共感、寛容性、更には多様性を尊重する態度や人間関係を築く力などを育成することが大切である。

それには、個別最適・協働的な学び、「自立」「協働」「創造」など、学習の基礎となる部分を発展的に継承する必要がある。また、多様性や公平・公正な共生社会の実現と多様な個人それぞれが生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう向上を図っていくことも求められる。

さらに、一人一人の子供が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓いていくことも大切である。自己の興味・関心やキャリア形成と関連付けて生涯にわたって学び続けていく力を身に付けていく必要がある。

これらの資質・能力を育むためには、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得及び思考力・判断力・表現力等や粘り強く学習に取り組む態度等の育成が欠かせない。また、リアルとデジタルを融合した授業づくりに取り組むこと、地域や企業と連携・協働して体験活動の機会を充実させることなどが重要である。

体験活動は豊かな人間性、自ら学び自ら考える力などの生きる力の基盤であり、子供の成長の糧としての役割が期待されている。コロナ禍で減少した自然体験活動や社会体験活動等は、協働する機会も多く、自己肯定感や協調性など幸せや豊かさに資することから、多様性を尊重する態度育成への役割も重要となる。

しかしながら、学校教育の現状を見ると、長引くコロナ禍の影響による疲弊も散見され、学ぶ意欲やチャレンジ精神、柔軟で豊かな感性や思いやりの心の育成、

多様性を受容する力の発揮など、人間関係の在り方や自己肯定感・自己有用感の高揚に課題が生じている。

私たち学校教育に携わる者は、確かな子供理解を深めながら、体験的な活動を重視し、主体的・対話的で

深い学びを充実させ、次のような教育を積極的に推進することが大切である。

幼稚園・こども園では、一人一人の幼児が生活や遊びの中で、その場で考え、判断し、対応していく力を育んでいく。初めての社会生活で出会う多様な人や自然・物等との関わりを通して違いに気付き、違いを受け止め、協同して行う体験を積み重ねていく力を育成する。

小学校では、各教科等において問題解決的な学習を通して協働的に探究し、思考力・判断力・表現力等を育てる。また、教育活動全体で感性や思いやり、多様性を受容する力等の育成に努めるとともに、地域や社会とつながる社会体験活動への積極的な参加を促し、あらゆる他者と協働し尊重することの大切さを実感させる。

中学校では、各教科等において問題を見だし、課題を解決する学習過程を重視した深い学びの実現を図る。また、対話や議論を通して多様な考え方を理解し、体験活動等を通して他者と協働して問題の解決に取り組む態度を育むとともに、多様性を尊重し互いのよさを生かして豊かな人生を切り拓いていく生徒を育てる。

高等学校では「多様性の尊重」が現実的課題として存在する「社会」に出ていくための準備を進める。そのためには、これまでの学校教育で育ててきた資質や学習経験を体系的に理解・発展させ、答えが一つではない実社会に対応できるよう、地域や企業という学校外のリアルな体験の中で人間関係を構築し、豊かさを共有する態度を育成する。

特別支援学校では、地域の中で協働する学びの機会をさらに広げ、夢や生きがいのある自立や社会参加につなげていく。個々の障害の状態や特性に最適化した多様な学びを促進させ、幼児・児童・生徒のもてる力を高め、日常生活や学習活動上の困難を改善又は克服する力、他者を尊重し、自ら考え行動できる力を培う。

家庭・地域社会では、それぞれの役割と責任を果たし、家族の絆や地域づくりに一層努めるとともに、学校と相互に連携・協働して、子供たちの成長を支えていく環境を整備する。また、多様な人材や社会教育施設、企業などの地域資源の積極的な活用を通して、社会とつながる協働的でリアルな体験活動による学びを実現する。

10 申込み方法

(1) 【静岡県内会員の方】 【一般の方（オンライン）】

右の二次元バーコードまたは下記URLから「静岡大会参加申込フォーム」に、必要事項を入力し送信してください。フォーム送信後に届く「受付完了」メールをもって、参加申込完了といたします。インターネットでの申込みができない場合は、本ページの下にある「参加申込票」に記入のうえ、FAX等で静岡県支部にお申込みください。

★静岡県内会員・一般専用フォーム → <https://forms.office.com/r/GU3MjxvHpS>



(2) 【各都道府県の支部または団体】

申込みを集約していただき、右の二次元バーコードまたは下記URLから、静岡大会参加申込フォームに必要事項を入力し送信してください。フォーム送信後に届く「受付完了」メールをもって、参加申込完了といたします。インターネットでの申込みができない場合は、本ページの下にある「参加申込票」に記入のうえ、FAX等で静岡県支部にお申込みください。

★支部・団体専用フォーム → <https://forms.office.com/r/wC4H4xUnu0>

※原則、静岡市外の方はオンライン参加をお願いいたします。



大会事務局	日本教育会静岡県支部 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番12号 静岡県教育会館4階 TEL: 054-251-4811 FAX: 054-251-4812 E-mail: s-kenkocho-1@ka.tnc.ne.jp
-------	--

11 参加費納入

(1) 参 加 費（会場参加、オンライン参加ともに同額）2,000円

※申込み受付後は返金できませんので御了承ください。

(2) 振 込 先 三井住友信託銀行 静岡支店 店番: 420 普通貯金: 7790826 日本教育会静岡県支部

12 申込み・振込み締切日 令和6年7月12日(金)

13 会場・交通案内

会場：静岡市東部勤労者福祉センター 清水テルサ

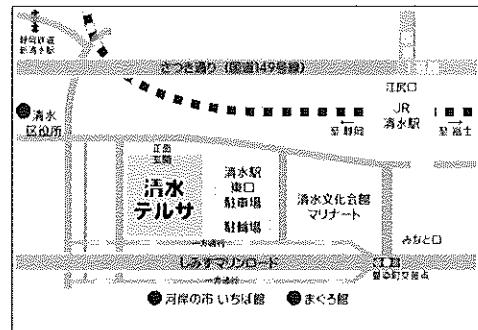
<会場へのアクセス>

●JR東海道線：清水駅 南口から徒歩5分

●静岡鉄道 新清水駅から徒歩7分

●東名高速道路清水ICから車で15分

◆会場の隣に駐車場（有料）があります。



14 大会に関する問い合わせ先

〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目5-28 ナーベルお茶の水

公益社団法人日本教育会事務局 宛

TEL: 03-5803-9708 FAX: 03-5803-9708 E-mail: nkk@nihonkyouikukai.or.jp

※FAX送信する場合は、切り取らずに御使用ください

令和6年度全国教育大会静岡大会		参加申込票		令和6年 月 日	
都道府県名		参加方法	会場参加	オンライン参加 (該当を○で閉む)	
氏 名		勤 務 先		職 名	
勤 務 先 住 所	〒 ()	TEL ()			
Eメールアドレス					

※質問事項があればお書きください。